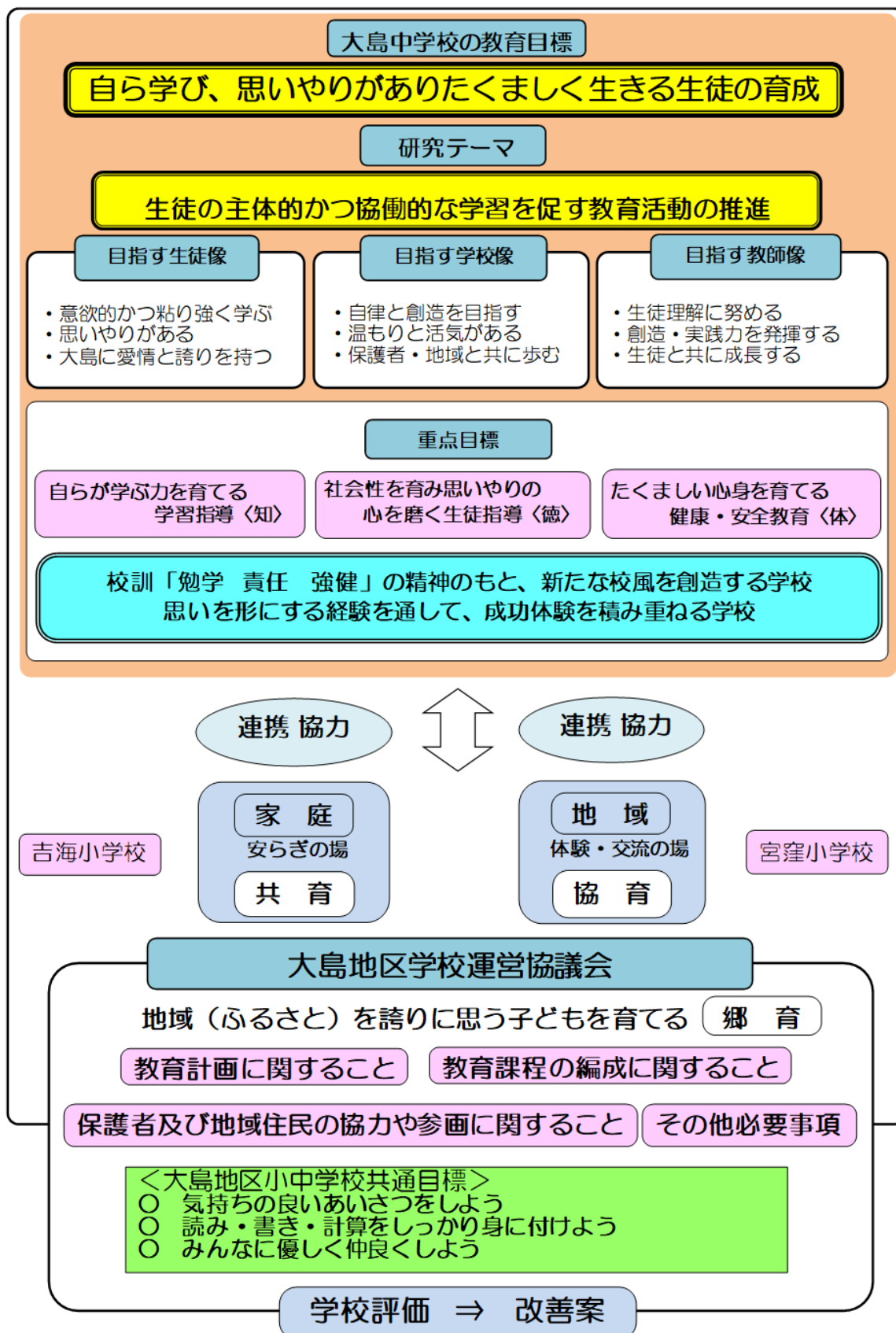


令和8年度 教 育 計 画						学校番号 4 1	
今治市立大島中学校							
校長名	船端 崇	学級数	5 (2)	生徒数	6 2	教職員数	1 2

令和8年度 今治市立大島中学校 グランドデザイン



重点目標と具現策	1 自ら学ぶ力を育てる学習指導の推進 (1) 生徒一人一人の個性や教育的ニーズを把握し、「ユニバーサルデザインの観点を取り入れた人権が尊重される授業づくりの視点」「一人一台端末や学校図書館の有効活用」「学習への意欲化につながる指導方法の工夫改善」を取り入れ、個に応じたきめ細かな指導を充実させる。 (2) 全ての生徒の学力を保障するため、「学習の手引き」「スタディサプリ」を活用した家庭学習の習慣化と、「学習マッチ」「朝の自主学習」とを関連付けた学習指導を継続的に実践する。 (3) 言語化による振り返りを重ねることで、生徒一人一人が自己実現について真剣に考えるキャリア教育を充実させる。 2 社会性を育み思いやりの心を磨く生徒指導の推進 (1) 「大島（ふるさと）を誇りに思う子どもを育てる（郷育）」の理念の下、総合的な学習の時間を中心として、地域との協働による持続的な教育活動を確立する。 (2) 集団生活や社会のルールに適応する社会性を身に付けさせ、思いやりの心で他者と関わる生徒を育てる指導を充実させる。 (3) 「大島中は家族」を合言葉に、自他の大切さを認め、互いに戒め合い支え合う意識を育て、いじめを許さない集団づくりに努める。 3 たくましい心身を育てる健康・安全教育の推進 (1) 「特別の教科 道徳」の授業を「考え、議論する」授業内容への積極的な転換を図り、道徳性に係る成長を促し、認め励ます指導を充実させる。 (2) 活動への取組の過程を重視し、向上心・仲間意識・礼儀等を身に付けた健全な成長を目指す。 (3) ゆとりと潤いのある安全な学校生活が送れるよう教育環境を整備する。 4 その他 学習指導・生徒指導の諸問題に対応するため、義務教育9か年を見通し、中学校区の小学校と連携した教育を計画的に進めていく。
学校運営上の留意点	1 人的管理 (1) 教職員が服務規律を守り、生徒や保護者からの信用を得られるように留意する。 (2) 温かい人間関係を基盤に、互いに協力し合う明るい職場づくりに努める。 (3) 現職教育の充実を図り、教職員の「働きがい」や「働きやすさ」を向上させる。 2 物的管理 (1) 生徒が学校生活を気持ち良く送れるような教育環境の整備に努める。 (2) 施設・設備、教材・教具、I C T機器等を有効に活用して教育効果を高める。 (3) 施設・設備の安全点検や、劇物等の薬品類や危険な工具類の安全な使用と管理を確実に行之、事故防止・盗難防止・火災予防等に努める。 3 事務管理 (1) 正確で迅速な文書処理を行い、公文書は集中管理する。 (2) 諸表簿類の作成と保管を適正に行い、情報公開等に備える。 (3) 金銭の取扱い(出納・経理)については、定期的に監査を行い、管理を厳正に行う。 4 働き方改革 (1) I C Tを活用した業務の効率化の推進を継続する。 (2) 対話と協働を重視し、「働きがい」「働きやすさ」を実感できる労働環境づくりに努める。
本校の教育の特色と展開	地域に根ざした教育活動を継承することによって、知・徳・体の調和のとれた生徒の育成を目指している。大島地区学校運営協議会の意見を受け、学校運営の改善及び生徒の健全育成に取り組み、保護者や地域の人々の協力を得ながら活動を実践する。 1 身近な自然環境や郷土の文化から学ぶことをテーマにした総合的な学習の時間の充実を図る。 2 地域行事や特色ある各種の体験活動への参加を通して、ふるさとを愛し、地域を支え、文化の伝承に貢献しようとする生徒を育てる。 3 地域と学校が協働して持続可能な教育活動を確立することで、働き方改革への理解を促進するとともに、次代の担い手を育成するという当事者意識の醸成に努める。 4 吉海小学校・宮窪小学校と連携し、大島中学校区コミュニティ・スクールとして活動する。